アジア州

名前

問1　中国の内陸盆地である四川地方において、その土地の農業や地理的条件と深く結びついた食文化の特徴として正しいものはどれですか。（2021年 大分県公立入試 類似）

1. 長江の下流域で獲れる魚介類を主役とし、素材の味を活かした砂糖と醤油による甘辛い料理。
2. 小麦を主原料とした皮で具材を包む八宝菜を中心とした、蒸し料理や煮込み料理。
3. 盆地で生産される大豆や香辛料をふんだんに使った、マーボー豆腐などの辛みの強い料理。
4. 広大な牧草地を利用した羊肉の料理が中心で、小麦の粉を練って焼いたナンを主食とする文化。

問2　中国の主要都市における一月の平均気温と降水量の特徴について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）

1. 北京の年間降水量は、南方の上海よりも多く、熱帯モンスーンの影響を強く受けている
2. 一月の平均気温は、北部のシェンヤン（瀋陽）よりも南部のコワンチョウ（広州）の方が高い
3. 一月の平均気温は、緯度に関わらず大陸の東側よりも西側の内陸部の方が高い
4. 年間の降水量は、沿岸部に位置する上海よりも内陸部の都市の方が全体的に多い

問3　中国が1970年代末から実施した「改革・開放」政策の一環として、沿岸部のシェンチェン（深圳）などに設けられた、外国の資本や技術、外国企業の進出を優先的に受け入れるための地域を何というか、書きなさい。（2024年 福岡県公立入試 類似）

1. 特別行政区
2. 経済特区
3. 直轄市
4. 自治区

問4　アラビア半島を中心とする西アジアの国々では、広大な砂漠が広がる一方で、近年では高層ビルが立ち並ぶ近代的な都市が建設されています。このような変化の背景と、現在の産業の動向について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）

1. 海外からの多額の経済援助をもとに、砂漠全域を森林化するプロジェクトを完了させ、現在は木材の輸出を最大の収益源としている。
2. 沿岸部に多くの水上集落を建設することで、厳しい砂漠の気候を避けた生活を送り、伝統的な漁業を国の経済の中心に据えている。
3. 石油の輸出で得た豊富な資金を背景に、都市の基盤整備を進めるとともに、将来の資源枯渇を見据えて観光開発などにも力を入れている。
4. 雨季と乾季の交代に合わせた大規模な治水工事を行い、砂漠を広大な水田地帯に変えることで、農産物の輸出を主産業としている。

問5　世界の諸地域の特徴について述べた次の文のうち、アラビア半島周辺に位置する産油国の特徴について正しく説明しているものはどれですか。（2023年 高知県公立入試 類似）

1. 地中海に面した北アフリカの産油国として、ヨーロッパ諸国へのパイプラインを通じた天然ガス供給を主軸に経済成長を続けている。
2. ユーラシア大陸の内陸部に位置し、旧ソ連時代から続く重化学工業と、カスピ海周辺での海洋資源開発を組み合わせて発展している。
3. 熱帯の広大な森林を切り開いて得た地下資源の輸出により、特定の沿岸部に人口が集中するメガロポリスを形成している。
4. 乾燥帯に属しており、原油の輸出によって得た利益をもとに、近年は金融や観光などの産業にも力を入れた近代都市を形成している。

問6　韓国は1980年代から2010年代にかけて急速な経済発展を遂げましたが、この期間における輸出品目の変化について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2022年 埼玉県公立入試 類似）

1. 衣類などの労働集約的な軽工業品から、機械類や自動車などの重化学工業品へと主力品目が変化した。
2. 伝統的な工芸品や絹織物の輸出を国家戦略の中心とし、安定した経済成長を維持し続けている。
3. 1980年代には機械類が輸出の50%以上を占めていたが、2010年代には農産物の輸出が中心となった。
4. 鉄鉱石や石炭などの鉱産資源の輸出が中心となり、工業製品の輸出額を大きく上回るようになった。

問7　中国の鉄鉱石に関する統計では、中国は世界最大の産出国の一つである一方で、世界の鉄鉱石輸入量の約6割を占める世界最大の輸入国でもあります。このような状況が生じている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 山形県公立入試 類似）

1. 国内の鉄鉱石需要は減少傾向にあるが、資源価格を安定させるために国家が輸入を続けているため
2. 国内の鉄鉱石産出量が極めて少なく、自国の需要のほぼすべてを輸入に頼らざるを得ないため
3. 国内の鉄鉱石産出量よりも、急速な工業化に伴う国内の需要量の方が大幅に多いため
4. 国内で産出される鉄鉱石はすべて国外へ輸出され、国内で必要な資源を輸入でまかなっているため

問8　ある国の統計資料において、日本企業の進出数が10年間で約4倍に増加した背景を分析したところ、労働環境や人口構成に大きな特徴があることがわかりました。この調査結果が示すベトナムの状況として正しい説明を選びなさい。（2024年 埼玉県公立入試 類似）

1. 月額賃金が周辺諸国を上回るペースで上昇しており、高賃金を求めて周辺国から労働者が流入している。
2. 労働者の月額賃金は安価であるが、働き手となる15歳から49歳の人口割合が年々減少しており、深刻な人手不足にある。
3. 月額賃金が低水準であり、かつ総人口に占める15歳から49歳の層が厚いため、労働力が豊富である。
4. 総人口に占める65歳以上の高齢者の割合が急増しており、介護サービス関連の日本企業が市場を独占している。

問9　1980年から2015年にかけて、タイやマレーシアといった東南アジア諸国の経済構造は大きく変化しました。この期間における輸出額の変化と品目の動向について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. 天然ゴムの輸出額が20億ドルを超えるなど好調を維持したため、輸出総額に占める一次産品の割合は1980年当時よりも上昇した。
2. 天然ゴムや原油といった一次産品に代わり、機械類などの工業製品が輸出の大部分を占めるようになった。
3. 農業の機械化が進んだ結果、米を中心とした穀物の輸出額が急増し、工業製品の輸出割合を大きく上回った。
4. 経済発展に伴い国内のエネルギー需要が高まったため、原油などのエネルギー資源の輸出が以前よりも盛んになった。

問10　インドの産業において、デカン高原の存在は農業・工業の両面で重要な役割を果たしてきました。この高原の自然環境と産業の関係についての説明として正しいものはどれですか。（2022年 長野県公立入試 類似）

1. 焼畑農業による大規模な森林開発が進んだ結果、現在は牧草地へと転換され、世界有数の肉牛の飼育地となっている。
2. ラテライトと呼ばれる赤色の土壌が広く分布しており、高冷な気候を利用した茶のプランテーションが展開されている。
3. レグールと呼ばれる肥沃な黒色の土壌が分布しており、古くから綿花の栽培が行われ、繊維工業の発展を支えた。
4. 標高が高く極めて乾燥しているため農耕には適さず、主にヤクや羊などの遊牧が住民の生活を支えている。

問11　ドイツ、メキシコ、インド、日本の四カ国の二〇一〇年と二〇二三年の統計を比較した際、インドのように人口が著しく増加し、国内総生産（GDP）の急成長とともにエネルギー国内供給量も大幅に増加している国が見られます。このような新興国で見られるエネルギー供給の動向について、その背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）

1. 出生率が低下し少子高齢化が進んだことで、労働力不足を解消するための機械化が徹底され、その燃料としてエネルギー消費が急増している。
2. 国内総生産（GDP）が減少傾向にあるため、安価なエネルギーを大量に輸入して国内の産業を無理に活性化させようとしている。
3. 省エネルギー技術が世界で最も進んでいるため、人口が増加してもエネルギー国内供給量を一定に保つことに成功している。
4. 急速な経済発展と人口増加にともない、工業化の進展や国民の生活水準が向上したことで、社会全体のエネルギー需要が拡大している。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 盆地で生産される大豆や香辛料をふんだんに使った、マーボー豆腐などの辛みの強い料理。	四川地方は内陸の盆地という地形的特徴から、夏は高温多湿、冬は冷え込みが厳しい環境にあります。こうした気候を乗り切るために、刺激の強い香辛料を多用する工夫がなされました。盆地内で栽培される大豆を原料とした豆腐と、独自の香辛料を組み合わせた料理がこの地域の特色です。
問2	答え 2 一月の平均気温は、北部のシェンヤン（瀋陽）よりも南部のコワンチョウ（広州）の方が高い	広大な国土を持つ中国では、緯度の違いが気温に大きく影響します。一月の平均気温を比較すると、緯度の高い北部（シェンヤンや北京など）は寒さが厳しく、緯度の低い南部（コワンチョウなど）は温暖になります。降水量については、上海などの東部沿岸の方が内陸部よりも多くなるのが一般的です。
問3	答え 2 経済特区	中国は、特定の地区に税制上の優遇措置を設けることで、外国企業やその資本・技術を積極的に導入しようとしました。これが経済特区です。当初はシェンチェン（深圳）、アモイ（厦門）、スワトウ（汕頭）、チューハイ（珠海）の4か所から始まり、後にハイナン島（海南島）などが追加されました。これにより、中国は「世界の工場」と呼ばれるほどの急速な工業発展を遂げることとなりました。
問4	答え 3 石油の輸出で得た豊富な資金を背景に、都市の基盤整備を進めるとともに、将来の資源枯渇を見据えて観光開発などにも力を入れている。	西アジアのアラビア半島周辺の国々では、埋蔵されている豊富な石油（原油）の輸出によって莫大な資金を獲得してきました。この資金を投入して、かつては砂漠だった場所に冷暖房の完備された高層ビルや道路などのインフラを整備し、急速な近代化を成し遂げました。近年では、石油資源が将来的に枯渇することや、世界的な脱炭素の動きを考慮し、石油依存からの脱却を目指してドバイなどの都市を中心に観光開発や金融ビジネスにも注力しています。
問5	答え 4 乾燥帯に属しており、原油の輸出によって得た利益をもとに、近年は金融や観光などの産業にも力を入れた近代都市を形成している。	アラビア半島を中心とする西アジアの産油国は、石油資源への依存から脱却するため、得られた富を新しい産業の育成に投資しています。特にドバイなどは、その地理的な利点を活かして、ハブ空港の整備や、高層ビルを象徴とする国際的な観光・金融都市へと変貌を遂げました。北アフリカや中央アジア、南アメリカにも産油国は存在しますが、砂漠環境での極めて近代的な都市開発は西アジアの大きな特徴です。
問6	答え 1 衣類などの労働集約的な軽工業品から、機械類や自動車などの重化学工業品へと主力品目が変化した。	韓国は1980年代以降、政府主導の輸出志向型工業化を推進しました。初期は賃金の安さを活かした衣類などの軽工業が中心でしたが、教育水準の向上や技術開発への投資により、次第に高度な技術を要する機械類、自動車、半導体といった重化学工業製品が輸出の大部分を占めるまでに成長しました。
問7	答え 3 国内の鉄鉱石産出量よりも、急速な工業化に伴う国内の需要量の方が大幅に多いため	中国は広大な国土を持ち、自国で大量の鉄鉱石を産出していますが、それ以上に経済発展に伴う工業生産が活発であり、鉄鋼製品の原料となる鉄鉱石の需要量が産出量を大きく上回っています。この不足分を補うために、オーストラリアやブラジルなどから大量の鉄鉱石を輸入しており、世界最大の輸入国となっています。「産出量が多い＝輸入の必要がない」という誤解を解き、需要と供給のバランスを理解することが重要です。
問8	答え 3 月額賃金が低水準であり、かつ総人口に占める15歳から49歳の層が厚いため、労働力が豊富である。	ベトナムに進出する企業の多くは、製造業などの労働集約的な産業です。そのため、企業の利益を左右する「月額賃金」の安さと、働き手となる「15歳から49歳の人口割合」の高さは、進出先を決定する際の重要な指標となります。ベトナムはこれら2つの条件を満たしており、安定した労働力の供給源として日本企業から高く評価されています。
問9	答え 2 天然ゴムや原油といった一次産品に代わり、機械類などの工業製品が輸出の大部分を占めるようになった。	タイやマレーシアでは1980年代以降、外国資本の積極的な受け入れやインフラの整備を進めることで、急速な工業化を成し遂げました。かつては天然ゴムや原油、すずといった自然から採取したままの「一次産品」の輸出が経済を支えていましたが、現在では自動車や電子部品などの機械類を含む工業製品が輸出の主役となっています。2015年の統計を見ると、タイでは輸出額の約3割、マレーシアでは約4割を機械類が占めるなど、経済構造が大きく変化したことがわかります。
問10	答え 3 レグールと呼ばれる肥沃な黒色の土壌が分布しており、古くから綿花の栽培が行われ、繊維工業の発展を支えた。	デカン高原に広がるレグールは、水分保持力が高いことから乾燥に強く、綿花の栽培に適しています。この農業的基盤があったことで、ムンバイなどの周辺都市では綿織物工業が発達し、インドの近代工業化の先駆けとなりました。茶の栽培（アッサム茶など）は、より降水量の多い北東部の丘陵地帯などで盛んです。
問11	答え 4 急速な経済発展と人口増加にともない、工業化の進展や国民の生活水準が向上したことで、社会全体のエネルギー需要が拡大している。	インドなどの新興国では、爆発的な人口増加に加えて、経済成長（GDPの増大）にともなう工業化や電化の普及、自動車の普及といった生活の変化が激しく、それに比例して必要となるエネルギー量も急増します。一方で、日本やドイツなどの先進国は、経済規模は維持しつつも、省エネルギー技術の普及や産業構造の変化により、エネルギー供給量を抑える傾向にあります。人口増とエネルギー消費増が強く相関しているのが新興国の特徴です。